

2016年度を振り返って



公益社団法人
都城青年会議所

第53代理事長
真方 誠也

2016年度は、まちづくりはひとつづくりという言葉もあるように、人こそ宝であり、会員の成長こそ、この圏域の明るい豊かな未来に繋がるとの思いのもと、会員一人ひとりが、それぞれに身近な人々にとっての光明として、道を指し示すことのできる人間にならなければならない、またそのような心豊かでたのもしい人財を多く輩出する事が、この組織の使命であると考え、「『一燈照隅』そして輝け、JAYCEE Soul！」というスローガンのもと、53年目の歩みを進めてまいりました。市民意識変革運動を行うのが青年会議所の役割と認識をしておりますが、会員一人ひとりの成長と自覚ある行動がなければ、圏域市民の皆様方の心を動かす事は出来ません。より多くの圏域の皆様方に納得し、共感して頂ける事業を計画し、同時に会員一人ひとりが人間的な成長を遂げる事のできる「学び舎」としての組織の確立に向けての取り組みも行う事で、この組織の圏域における貢献度をさらに高めるべく活動をしてまいりました。そのような中、2016年度は、昨年に引き続き、継続事業として第2回目となる「肉と焼酎のふるさと みやこんじょ花火大会」を都城観光協会のご理解のもと、「焼肉カーニバル」との同日開催をさせて頂き、音楽花火を中心とした宮崎県一となる12,900発もの花火を市内外多くのご来場者の皆様に堪能して頂きました。また、同じく継続事業として、第10回目の記念大会になるはずであった「きりしまんぢだジュニアトライアスロン大会」においては、天候不良の為、残念ながら実施は出来ませんでしたが、事前登録では過去最高の参加者数を記録しており、圏域の保護者そして子どもたちからも高く認知をされる青少年育成事業へと発展している事を実感させて頂きました。そして、第43回盆地まつり、第11回焼肉カーニバル、第9回島津発祥まつり等への共催、支援を通じた地域との共生も積極的に図って参りました。さらに、喫緊の課題でありました会員拡大においても、45名拡大の目標を掲げ、メンバー一丸となって取り組んで参りました。残念ながら、目標には届きませんでしたが、27名もの新たな若きリーダーたちをこの学び舎に招く事が出来た事については、これから組織力向上に大きく寄与するものと考えます。公益法人としての本分を全うする一方で、対内的にも、自己の成長に向けた事業と共に先輩方や他LOM、姉妹JCである北蔚山青年会議所との交流も含めた事業の実施を通して、よりLOMとして、JAYCEEとして成長出来た実感を持つ事ができたのではと考えます。

これからも都城青年会議所は、優れた若きリーダーたちを輩出しつづける学び舎として、圏域の明るい豊かな社会の実現に向けて弛まなく活動を続けてまいります。創立53年目を無事に終え、54年目に引き継ぐ事ができました事に心より感謝申し上げ、未熟な理事長を支えて頂きました運営スタッフをはじめ、役員、メンバーの皆様、そして、多大なるご理解を頂き、ご支援を賜りました行政、地域の各団体、各企業、シニアの先輩の皆様方に心より御礼を申し上げます。

一年間有難うございました。

2016年度スローガン

「一燈照隅」そして輝け、JAYCEE Soul!

<主な事業>

総務広報委員会

1月通常総会、7月通常総会、11月第1例会（事業検証会）・出向者報告会
12月通常総会、ホームページ・メディアを活用した広報活動と管理運営

LOM創造拡大委員会

2月第1例会（宮崎ブロック協議会会長公式訪問例会）、北蔚山青年会議所との交流窓口
拡大会議を通じた会員拡大へ向けての意識向上及び実践の促進

指導力向上委員会

3月第1例会（心豊かでたのもしいリーダー育成例会）、7月第2例会（創立記念）
8月第1例会（盆地まつり）

経営力向上委員会

6月第1例会（経営力向上例会）、12月第1例会（卒業式）

青少年育成委員会

5月第1例会（青少年育成例会）、9月第1例会（トライアスロン）

みらいのまち開発委員会

4月第1例会（新たな圏域の未来を創造する例会）、10月第1例会（花火大会）

<各種大会等への参加>

1月京都会議（京都）、3月日本青年会議所総会（横浜）、4月日本青年会議所会頭公式訪問（大分）、6月宮崎ブロック大会（日南）、6月J C I - A S P A C（高雄）、7月サマーコンファレンス2016（横浜）、8月九州地区大会（鹿屋）、10月全国大会（広島）、11月世界会議（カナダ・ケベック）、宮崎ブロック野球大会（都城）、九州地区JCサッカー選手権大会（宮崎）

<支援関連事業>

盆地まつり、いきいき大淀川クリーン大作戦、焼肉カーニバル、島津発祥まつり